

PRESS RELEASE

日本証券クリアリング機構 プレスリリース



株式会社日本証券クリアリング機構
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町2番1号
Tel : 03-3665-1234 (代表)

JAPAN SECURITIES
CLEARING CORPORATION

2-1, Nihombashi-Kabuto-cho, Chuo-ku,
Tokyo 103-0026, Japan
Tel : +81-3-3665-1234

URL: <https://www.jpx.co.jp/jsccl/>

2023年11月20日

各位

株式会社日本証券クリアリング機構

大規模金融機関の破綻を想定したグローバルな訓練（グローバル・ファイヤー・ドリル）の
実施について

株式会社日本証券クリアリング機構（以下「JSCC」という。）は、各国の主要な清算機関と連携¹して、2023年11月13日（月）から11月20日（月）にかけて、銀行、証券会社等の金融機関（52機関）に加えて、金融庁、日本銀行等の参加を得て、大規模金融機関の破綻を想定したグローバルな訓練（以下「グローバル・ファイヤー・ドリル」という。）を実施いたしました。

各国の清算機関は、その参加者である金融機関が破綻した結果、他の金融機関に影響が波及して金融危機に発展することがないよう、過去の金融危機を踏まえその機能を整備・強化してきました。今般実施されたグローバル・ファイヤー・ドリルは、グローバルに展開する仮想の金融機関の破綻を想定し、世界の主要な清算機関が一斉に破綻処理対応の訓練を実施する初の試みです。

JSCCは、取引所取引や店頭取引の清算に参加する金融機関（清算参加者）が万が一経営破綻した場合であっても、破綻参加者の担保を処分し、未決済のポジションを解消することにより他の金融機関の取引に影響を与えないよう、破綻処理体制を整備しています。こうした対応は、JSCCに求められる重要な機能の一つであり、今回の訓練で得られた気づきや知見も踏まえて、引き続き、破綻処理体制の維持・向上に努めてまいります。（今回実施した訓練の概要に関しては、参考資料をご参照ください。）

以上

¹ 国際的な清算機関の業界団体であるCCPグローバルが初めて実施する破綻演習。米国のChicago Mercantile Exchange Group、英国のLCH Ltd等、世界の31清算機関が参加。

(参考)

訓練の概要

訓練期間	11月13日から11月20日の期間に、すべての清算業務部門で同時・並行的に訓練を実施
破綻想定先	11月13日早朝に、すべての清算業務部門の清算資格を保有する仮想の清算参加者 (ACME:A Clearing Member Everywhere)が破綻した想定で訓練を実施
社外関係者	清算参加者（破綻管理委員を含む）、流動性供給銀行、金融庁及び日本銀行等の社外関係者を交えた形式で訓練を実施

JSCC における訓練スケジュールの概要

	11月13日	11月14日	11月15日	11月16日	11月17日	11月20日
清算部門 共通の対応	破綻認定・公表					
	有価証券担保の換金					
	破綻処理に伴う必要な資金流動性の調達					
取引所取引	未決済ポジションの市場での処分					
	(上場デリバティブのみ) 顧客建玉の他参加者移管					
CDS取引	CDS破綻管理委員会の開催					
	未決済 ポジションに係るヘッジ取引			未決済 ポジションに係る オークション		
金利スワップ 取引	金利スワップ破綻管理委員会の開催					
	未決済ポジションに係るヘッジ取引					未決済ポジションに係る オークション
	クライアント取引の他参加者移管					
国債店頭 取引	国債店頭破綻管理委員会の開催					
	未決済ポジションに係るオークション					

【本件に関するお問合せ先】
株式会社日本証券クリアリング機構
清算リスク管理部
03-3665-1234（代表）